

令和6年度 自己評価計画書

							石川県立盲学校	
重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評 価 の 観 点	実 現 状 況 の 達 成 度 判 断 基 準	判定基準	備 考	
1 授業実践力の向上	他の教員の授業参観や、県教員総合研修センターの授業ビデオ等を活用し、自分の授業に活かす。	教務課 全学部	校内の教員間で授業を参観し合ったり、他校の研究会等に参加したりして授業改善の視点を得る機会が十分ではない。	【努力指標】 他の教員の授業を参観し、授業改善の視点をもち、自分の授業に活かすことに取り組む。	校内あるいは校外において、他の教員の授業を2回以上参観して授業改善の視点をもち、自分の授業に活かした教員の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	C、Dの場合は工夫・改善を図る	教職員アンケートにより評価	
2 専門性の向上とセンター的機能の充実	各教員が専門性チェックシートを活用し、個別に目標を立てて、視覚障害に関する専門性の向上を目指す。	支援課 全学部 寄宿舎	外部から専門性チェックシートを手に入れたが、シートを使って自分の専門性がどの程度あるかの確認はできていない。	【成果指標】 教員各自が、チェックシートで自己の専門性を確認し研修等に取り組む。	チェックシートで自己の課題を確認し、研修等に取り組み、専門性が向上したと感じる教員の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	C、Dの場合は工夫・改善を図る。	教職員アンケートにより評価	
3 キャリア教育の推進	キャリア教育全体計画をもとに児童生徒のキャリア発達の課題を把握し、目標や教育内容・方法、各教科の関連等を考慮しながら実践し、キャリア教育の充実を図る。	進路課 全学部	キャリア教育全体計画が十分に活用されていないか、個々のキャリア発達の課題等が担任以外の教職員や保護者に共有されていないか、キャリア教育を計画的、組織的に行う必要がある。	【成果指標】 教員が、全体計画をもとにキャリア教育の視点を意識した授業や行事を実践した。	全体計画を活用した計画的、組織的なキャリア教育を実践できたと感じる教職員の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	C、Dの場合は工夫・改善を図る。	教職員アンケートにより評価	
				【成果指標】 児童生徒が、キャリア発達の課題を把握し、目標を決めて取り組むことで、成長できたと感じる。	キャリア発達の課題を理解し、目標を決めて取り組み、目標を達成した児童生徒の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	C、Dの場合は工夫・改善を図る。	児童生徒アンケートにより評価	
				【満足度指標】 保護者が、HPや学級通信、懇談等を通して、キャリア教育全体計画に基づいた教育活動について理解する。	HPや学級通信、懇談等を通して、キャリア教育全体計画に基づいた教育活動について、理解できた保護者の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	C、Dの場合は工夫・改善を図る。	保護者アンケートにより評価	
	キャリア教育の視点を持って、舎生が話し合っって寄宿舎の活動や行事を企画する場を設定することで、寄宿舎生活の充実を図る。	寄宿舎	他者の考え方や立場を理解し、意見を聴いて自分の考えを正確に伝える力が十分ではない。卒業後の進路を視野に入れて、それぞれが身につけるべき人間関係形成・社会形成能力を向上させていく必要がある。	【満足度指標】 舎生が、他者の意見を聴くことができるようになった、自分の考えを相手に伝えることができるようになったと答えた舎生が A 4人以上 B 3人 C 2人 D 1人以下	他者の意見を聴くことができるようになった、自分の考えを相手に伝えることができるようになったと答えた舎生が A 4人以上 B 3人 C 2人 D 1人以下	C、Dの場合は工夫・改善を図る。	舎生アンケートにより評価	
4 校務分掌等の業務改善	業務のデジタル化によって、業務の効率化、ペーパーレス化を推進する。	全学部	各課のマニュアルを基に業務を行い、マニュアルの整備を行った。更に、効率化を図るため、デジタル化、ペーパーレス化を推進し、資料の整頓等環境整備を行う必要がある	【成果指標】 デジタル化、ペーパーレス化、環境整備を意識した業務の遂行を行う。	デジタル化、ペーパーレス化、環境整備を意識して業務を遂行し、効率化につながったと感じる教職員の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	C、Dの場合は工夫・改善を図る。	教職員アンケートにより評価	